



世界名作翻訳全集



コレット



ディヴィット・ガーネット



シラー

定本提供・編集協力 春陽堂書店 発行・発売 ゆまに書房



フランスコ・イバニエス

世界の名作を昭和初期の多彩な訳で。
コレット、フランス、サンド、ジイド
等々を収録。待望のシリーズ第3弾！

オンデマンド版

■第Ⅲ期・全50巻■

本書を

推薦します

横浜市立大学名誉教授

小野寺 健

昭和の初期の『円本』の登場が、出版界に革命を起こしたことはよく知られている。皮切りは、改造社が大正十五年から刊行した全三十八巻の「現代日本文学全集」。一卷一円という低価格で出版し、三十五万部という空前の売上を達成した。円本という呼び名は、当時、東京市内の乗車料金を一円均一として走るタクシーを「円タク」と呼んだことに由来するが、この全集、じつは私には特別の思い入れがある。文学よりむしろ哲学や社会学が好きだった父がなぜかこの全集を買いそろえておいてくれたおかげで、本のなかった戦争中の中学時代に片端からこれを耽読し、今ではその名を聞くこともない、しかし忘れたい多くの作品にふれることができたのだ。最近とつぜん復活した「真珠夫人」にとりつかれて徹夜で読みあげたばかりに、中学へ入って最初の幾何の試験に落第点をとったり、蘆花の「思ひ出の記」に魅せられて恋愛観の基礎を植えつけられたことなど、ほんの一例にすぎない。大げさないうとこうして私の人生を決定した円本の出現は、ちょうど英国の「エブリマンズ・ライブラリー」のように、知識階級の大衆化、大衆文化時代の到来という、歴史的変化を占うものだったのである。社会には、さらに広い視野をもとめる読者の群が待ちかまえていた。

その欲求に応えたのが、「現代日本文学全集」について、文芸出版の老舗新潮社が昭和二年一月を期して刊行を開始した「世界文学全集」全三十八巻で、これは改造社の全集を上まわる五十万部の売上を記録した。行を開始した「世界文学全集」は、伏字だらけだった「デカメロン」「地獄」、その後はめったに出会わないラーゲルレーヴなど「神曲」をはじめ、北欧文学の数々、さらには新時代を告げる戯曲集までふくめた作品選択は、編集部の意欲を窺わせるのに充分である。この翻訳全集が、日本人の想像力と精神の世界にどれほど斬新な趣味をもたらし、文学観にとどまらず文化全体を豊かにしたかは計り知れまい。その訳文の多くがいまなお古びていず、むしろ味わいふかいことは一驚に値する。

だが、明治以来の翻訳には、ロシア文学などを典型的な例として、英訳からのいわゆる重訳が慣行として行われていて、この「世界文学全集」も例外ではなかった。

このたび復刊される春陽堂版『昭和初期世界名作翻訳全集』は、原則として重訳を排し、第一級の作家・翻訳家による原語からの「直訳」を多く収めているという。時代との関わりにおける作品の選択といい翻訳の技術といい興味津々だが、近代日本の文化に多大な貢献をした翻訳の歴史と意義を再考する資料として、その価値はきわめて大きい。

日本文壇に落雷の如き 強烈な衝撃を与えた世界名作の紹介

島崎藤村の小説『春』の一節に

——「俺かい」と青木は不安な眼付きをして、「俺は考えて居たサ。」（中略）

「内田（魯庵）さんが訳した『罪と罰』の中にも有るよ、銭取りにも出掛けないで一体何を為ている、と下宿屋の婢に聞かれた時、考えることを為ている、とあの主人公が言うところが有る。ああいうことを既に言っている人が有るかと思うと驚くよ。考えることを為ている。——丁度俺のはあれなんだね——」

とある。

内田魯庵は明治二十二年の春、丸善に『罪と罰』が五部入荷したことを尾崎紅葉が話していたと聞いて早速購入した。その内の一部は坪内逍遙が、もう一部は森田思軒が買った。その読後感想を魯庵は「宇宙の広漠なるを知て下宿屋一軒の中に千変万化の奇観あるを知らざるや」と記している。

さらに、二葉亭四迷は『罪と罰』を読んだ時、「あたかも広野で落雷に会って眼眩めき耳聾いたる如き、今までにかつて覚えないうその深さの感動を与えられた。」と述べている。当時、鷗外を始め多くの文豪は、世界の名作から大きな衝撃を受け、欧米の小説を続々と翻訳した。こうして日本の文壇はこれまで江戸末期の勧善懲悪・娯楽を主とした戯作小説主流から近代小説へ大きく変貌していくのである。この度、弊社は春陽堂書店と協力して、昭和初期、春陽堂書店が世界名作文庫として刊行した世界の名作二五〇点を「再生」することとなった。今ではなかなか手にする事のできないため読者の再刊要望の声が多く聞かれる稀覯本や、当時の翻訳状況をうかがう事のできる貴重本等を当時の姿を残し復刻する運びとなった。これを機に近代日本文壇史や低迷している世界文学が再び注目されれば幸甚である。

平成十六年一月

ゆまに書房

昭和初期

第Ⅲ期／全50巻

全250巻
刊行予定

世界名作翻訳全集

オンデマンド版・四六版並製・カバー装

■全50巻揃定価222,915円（本体212,300円）

◆平成18年2月 第Ⅲ期・全50巻同時刊行

※表示価格は税込みです。原著者名およびタイトルは原則として底本刊行時のものを採用、表記は新漢字歴史的仮名遣いとしました。() 内は底本の発行年月です。

101 コレット／福永英二・訳(昭和十一年九月)

青麦

定価 3,900 円

輝くブルターニュの海岸、ともに夏休みを過ごすフィリップとヴァンカ。二人が幼い恋心を思い始めたそのとき、少年の前に現れた、白い貴婦人マダム・ダルレー。少女への恋と、夫人の妖しい魅力の間で揺れ動く、少年の青い性。男装の麗人作家コレットが描いた現代版「ダフニスとクロエ」。

102 フランス／石川 淳・訳(昭和七年九月)

赤い百合

定価 4,600 円

時は十九世紀末、真実の愛を求め、魔類の都パリと芸術の都フィレンツェを彷徨うテレズ。そして彼女を争い、火花を散らせる青年ル・メルと彫刻家ドシャルトル。移ろいゆく流行と華麗なる社交界を背景に、フランス近代文学の巨星が恋愛の儚さを暴きます。文豪・石川淳、二十代の香気ある訳文。

103 サンド／田沼利男・訳(昭和七年九月)

悪魔が淵

定価 3,900 円

幼い三人の子供を抱えたやもめの農夫ゼルマンは、ひよんなことから純朴な娘マリイに出会う。道に迷った彼らは「悪魔が淵」近くの森で一晩を過ごす。二人の間に育つ愛情に実りは訪れるのか? 田園に理想社会を求めたサンドが、清新かつ牧歌的な愛を描いた「田園四部作」の第一作。

104 クラプト／神波比良夫・訳(昭和八年八月)

ある兵士の話

定価 4,300 円

「モローは手を振り廻した」ブルターニュの洲が／照り燦いて居る。軍人を夢見る少年モローはフランス革命戦争に身を投じ、救国の英雄となる。だが、彼の前に立ちふさがったのは、かのナポレオン。《ヴィヨンの後継》と称されたドイツの詩人による、ある軍人の生涯を追った一大叙事詩。

105 アンドレ・ジイド／新庄嘉章・林文雄・共訳(昭和九年十一月)

イザベル

定価 3,900 円



アンドレ・ジイド

恋と希望は青年の特権なのか。研究のため旧家に赴いたジェラルは、偶然見かけた肖像画と古い恋文から、情熱的な理想の女性を想像する。だが、神秘的なベールに包まれた幻の女を追求めた青年が、ついにたどり着いた真実とは。若き胸のときめきを語った、ロマンティックで詩的な小品。

106 アントン・チェーホフ／神西 清・訳(昭和八年一月)

犬を連れだした奥さん 外九篇

定価 4,300 円

海岸通りに新しい顔が現れたらしい。犬を連れだした奥さんが。銀行員のグロフは、避暑に訪れたヤルタで、美しい人妻と恋に落ちる。ひと夏の不倫の愛の中に、ほのかな生の希望を取り戻す二人。それでも時は恐るべき速さで過ぎてゆく。神西清の精緻な訳文による心理小説の傑作。他九篇。



アントン・チェーホフ

107 ヨハン・ボーイエル／内山賢次・訳(昭和八年二月)

ヴィキングの末裔

定価 4,600 円

北緯七十度、氷に閉ざされた北極海。そんな極限の海にも漁に勤しむ人間がいた。「あざらし」号を操り、海に打って出る漁師クリスターエル。嵐をくぐり、病と闘い、大型トロール船の進出に抗う「海の民」。ノルウェーの文豪が海に生きる者たちの群集劇を荒々しく描いた、海洋文学の世界的傑作。

108 ベックフォード／矢野目源一・訳(昭和七年十一月)

ヴァテック

定価 3,900 円

英国の謎多き奇人ベックフォードによる、暴虐と快楽の限りを尽くすイスラム王ヴァテックの物語。地下王国の宝を求める彼は、数え切れぬ美少年と美女の命を魔神に捧げ、そして、地獄への旅を始めるが。ゴシック小説の金字塔として再評価される一大奇譚を、世評の高い矢野目源一訳で送る。

109 シラー／秦豊吉・訳(昭和七年十一月)

ウィルヘルム・テル

定価 3,900 円

暴君ゲスレルの圧制に耐えるスイスの人々。怒った民衆が代官を殺したことから、怒濤の独立闘争の火蓋が落ちる。その中心で戦

い続けた英雄こそがウィルヘルム・テル! だが、敵の手に落ちたテルは、息子の頭の上の林檎を射抜けと命じられ。自由を求める不屈の詩人・シラーの最高傑作。

110 ヴォルテール／高沖陽造・訳(昭和九年十一月)

キアンデイド

定価 3,900 円

「萬有はこれ最善のもののために創られしなり」とは真実なりや? 城を追放され、戦争に巻き込まれ、船は沈み、地震に遭い、愛する人を失っても本当に幸せなのか? 知の巨人ヴォルテールが青年キアンデイドの波乱万丈の物語を通して、ライプニッツの楽天主義を痛罵したビカレスクロマン。

111 ツルゲネーフ／熊澤復六・訳(昭和七年八月)

貴族の家

定価 4,600 円

愛されるよりも、愛したかったです。醜聞だらけのバリと妻を見限り、單身帰国したラヴレツキー。敬虔な信仰心を持つ清楚な娘リーザに出会った彼は、いつしか彼女に真実の愛を見出すが。時代の中に滅び行かんとする貴族の荘園生活を描いた、ロシアの文豪による美しき悲哀物語。

112 ビリニャーク／米川正夫・訳(昭和七年八月)

消されない月の話

定価 3,900 円

一織工からソビエト軍総司令に登りつめたガヴリーロフ。忠勤の末、病に倒れた彼に、執拗に手術を勧める「背中を決して丸くしない男」とは? 人間は国家の駒に過ぎないのか? 《同伴者作家》の代表格ビリニャークによる、スターリン批判の扉で即日発禁となった幻の問題作。短篇「狼の控」を併録。

113 レオンハルト・フランク／小島尚・訳(昭和十年十二月)

後尾車にて・路上

定価 3,900 円

陽光あふれる美しいドイツの山峡。ほがらかな鉄道の旅は悲劇に一転した。暴走する車両に乗り合わせた若き銀行家夫妻、商人、労働者たち。怒濤のごとき十五分間のドラマの中に、人間の本性を暴き出した、ユダヤ人作家による名篇。貧富の差の哀しみを一医師の生活から描いた「路上」を併録。



レオンハルト・フランク

114

ホフマン／平井程一・訳（昭和八年二月）
古城物語……………

価
定 3,900 円

陰鬱な古城が聳える、R男爵家の領地。幽霊が跋扈する噂の絶えない城を訪れた私は、美しき男爵夫人に魅了される。だが、私は知ってしまった、この城には男爵家の深き因縁と恐ろしい陰謀が隠されていることに。幻想作家ホフマンによる怪奇譚「世襲領」を、愛書家垂涎の平井呈一訳で送る。

115

ディヴィット・ガーネット／神谷次郎・訳（昭和九年一月）
水夫の帰郷……………

価
定 3,900 円

英国サウサンプトンの港。屈強な水夫ターゲットが海から連れ帰ったのはなんと、黒檀のように美しい肌をしたアフリカの王女。奇矯な恋に落ちた二人は居酒屋を始めるものの、彼らに与えられたのは偏見と迫害だけだった。ブルームズベリー・グループの代表作家による、残酷で美しい近代の童話。

116

クラリスト／相良守肇・訳（昭和七年十一月）
聖ドミンゴ島の婚約 外五篇……………

価
定 3,900 円

聖ドミンゴ島では黒人による白人の虐殺が続いていた。フランス士官スタッフと混血の娘トオニー。憎みあうべき二人に芽生える恋心。だが、その信頼はあまりにも脆かった。人種の差が招く悲劇を描いた表題作や、命を助けた子供に滅ぼされる「拾ひ子」他、ドイツロマン派の俊英による全六篇。

117

ボオル・モオラン／飯島正・訳（昭和八年三月）
世界選手……………

価
定 4,300 円

新興国アメリカ。その精悍さは運動に勤しむ学生たちのようだが、しかし、その裏には悪徳があり、ボクシングの試合では不正が発覚する。だが、私達は国際社会のため、世界選手のようにバトンを渡し続けねばならぬ。日本の新感覚派に絶大な影響を与えた、外交官にしてモダニストによる稀少な一冊。



ポオル・モオラン

118

チーホノフ／黒田辰男・訳（昭和九年十一月）
戦争……………

価
定 4,300 円

全ての敵を焼き尽くす恐怖の兵器・火炎放射器を開発した「闇の公爵」シユタルケ少佐。新兵器はドイツ軍に多大な戦果をもたら

した。その影で、殺人ガスの開発に命を賭けるフアベル教授の目論見とは…。ソビエトの技術インテリゲンチヤ詩人による、近代戦争の変化と実情を克明に表現した長編。



ツルゲネーフ

119

ツルゲネーフ／米川正夫・訳（昭和七年十月）
その前夜……………

価
定 4,600 円

祖国ブルガリアの自由に全てを捧げた闘士インサロフ。彼こそは従来のロシアが知らなかった新しい男性だった。その熱意は深窓の令嬢エレナを《行動する女》へ変える。闘いの中で愛を育て、秘密裏に結婚した彼らだったが、悲劇はすでに始まっていた。革命精神の「前夜」を描く予言的一冊。

120

フーシュキン／熊澤復六・訳（昭和七年十月）
大尉の娘……………

価
定 4,300 円

辺境の地で起きた暴徒の騒乱。父母を惨殺されたマリアは、若き将校グリニョフに命を救われる。マリアは献身的な愛を捧げるが、彼は嫌疑のためシベリア流刑に。そして彼女はペテルブルグの女王のもとへ直訴に走る…命を捨てての覚悟で。歴史小説と家庭小説を融合させたフーシュキン晩年の傑作。

121

バルビュス／佐々木孝丸・訳（昭和七年十月）
クラルテ……………

価
定 4,900 円

愛国心に駆られ、戦争に出征した一青年が戦場で見たものとは。肉欲にくらんだ恋、塵芥のように扱われる人命、そして戦争の真実。なぜフランスに戦争をやめさせられなかったのか。「光こそ万人のもの」との叫びを全世界に広め、日本のプロレタリア文学に決定的影響を与えた歴史的名著。

123

ブラスコ・イバニェス／永田寛定・訳（昭和七年十月／昭和八年八月）
血と砂 全二巻……………

価
揃 8,600 円

アンダルシアの太陽、歓声ひびく闘牛場に走る光と影。友の死、無残な恋を乗り越え、マタドールとして大成するフワン。しかし、運命の女がフワンを翻弄し、彼は転落を辿る。迫り来る猛牛の背後に彼が見たのは栄光か、破滅か…。名優ヴァレンチノ主演の映画化で名高い、スペイン文学の傑作。

124

ドオデー／八木さわ子・訳（昭和十年十月／十二年十二月）
チャック 全三巻……………

価
揃 13,500 円

「不憫な子…」最初はなぜそう言われるのか分らなかった…。愚かで我儘な母と文士崩れの残忍な情人のため、孤児院や鉄工所、汽船を点々とする私生児ジャック。親切な老医師とその娘にほのかな安らぎを見出すも、運命はあまりに過酷過ぎた。罪なき魂が虐げられる悲劇を訴えた、ドーデの大河小説。

127

レニエ／矢野目源一・訳（昭和七年十一月）
ド・ブレオ氏の恋愛行状記……………

価
定 4,300 円

典雅なルイ王朝の宮廷にさんざめく貴婦人たち。眉目秀麗な青年貴族ド・ブレオが語る、ド・ブリオンヌ夫人への憧れと、花の都パリの恋愛絵巻。愛のリベルタンが目の当たりにする出会い、死、そして悲痛な別れ…。永井荷風も愛読した、憂愁の詩人レニエの代表作。矢野目源一による精緻な訳文。

128

アンドレ・ジイド／林文雄・訳（昭和十年七月）
蕩児の帰宅 外五篇……………

価
定 4,300 円

長年の放浪から次男が突然帰郷した。暖かく迎える父、叱責する兄、愛に満ちた母。だが、最も驚いたのは成長した弟の姿…まるで、自分が家出した時のような！象徴主義の理想を熱く説く詩論「ナルシス解説」、砂漠を旅する王と預言者の物語「エル・アズ」など、神秘的な瞑想を思わせる全六篇。

129

ワイルド／谷崎潤一郎・訳（昭和七年十月）
ウキンダミーヤ夫人の扇……………

価
定 3,900 円

ロンドン社交界に現れた謎の女性アリン夫人と、彼女と夫の仲を怪しむウキンダミーヤ夫人。そんな折、ウキンダミーヤ夫人は他の男に誘惑されるが、そこにアリン夫人が現れて…。一本の扇を核にして繰り広げられる華麗な物語。ワイルドを一躍時代の寵児にした名品を、大谷崎の氣高い訳文で。

131

エミール・ゾラ／三好達治・訳（昭和八年三月）
ナナ 全二巻……………

価
揃 9,200 円

華やかなベル・エポックのパリ。その影の貧民街でナナは生まれた。ヴァリエテ座の看板女優にして男を惑わす淫らなヴィヌスは、男たちを次々と破滅させる。だが、突然彼女は失踪し、驚きの真実が明らかに…。虚栄と転落の中に時代の変遷を描いた自然主義文学の傑作。詩人・三好達治による名訳。



エミール・ゾラ

132
ハインリッヒ・ハイネ／多田利男・訳（昭和八年一月）
ハイネ・回想録……………定価 3,900 円

著者たちの永遠の友ハイネ。本作品は作者の死後に発表された、幼年・青年時代の美しく、かつ苦悩に満ちた思い出の断片集。柔和で多忙だった父、敬虔でロマン的な母、魔法使いのような乳母…家族や親族、近しい人々の姿を赤裸々に描き、ハイネの精神形成の謎を解き明かす、必読の一冊。

134～133
トマス・ハーディ／宮島新三郎・訳（昭和八年六月・十一月）
遙かに狂乱の群を離れて 全二巻……………定価 8,600 円

舞台はイングランド南部のウェセックス。美しきバスシエバをめぐる男たち。かつては牧場主だったが全てを失ったゲイブリエル・プレイボリーの軍人トロイ。孤独な豪農ボウルウッド。その中で、変わらぬ誠実な愛を守り続けたのは誰なのか。イギリスの文豪ハーディの初期を飾る傑作長編。

135
アンドレ・ジイド／新庄嘉章・根津憲三・共訳（昭和十一年一月）
一粒の麦若し死なずば……………定価 4,900 円

ジイドは本書を贖罪のために書き、名を秘して十数部のみ出版した。厳格な教育に抗った少年時代、文学の目的を確信した青年時代。そして、自らの同性愛に気付く、苦悩の果てにオスカー・ワイルドの導きにより肉体の喜びを知る…。作家ジイドが己の内面と行状を残らず暴露した、衝撃的な告白録。

136
ルナル／岸田国土・訳（昭和七年八月）
葡萄酒の葡萄作り……………定価 4,300 円

「蛇 ながすぎる」…かの名著『博物誌』の原型は本書にある！自然と生きる農民一家、故郷の豊かな風土を描いた「土地の便り」。不思議な思索を秘めた旅行記「エロアの控帳」、そして、ルナルの真骨頂というべき、観察力あふれるコント集である表題作。新劇の父・岸田国土の洒落な訳文。

137
ゲーテ／秦豊吉・訳（昭和七年八月）
ヘルマンとドロテア……………定価 3,900 円

小さな田舎の旅館の息子ヘルマン。革命を逃れた避難民の娘ドロテア。素朴で優しい家族や友人に囲まれながら、二人は純粋な愛を育てる。時代という苦難の中で、知恵と愛情で助け合う人々。シューマンによる序曲でも知られる、美しき恋物語の中に人間の真摯さを願ったゲーテによる牧歌的小説。

139～138
バルザック／永戸俊雄・訳（昭和七年九月・十月）
放蕩親爺 全二巻……………定価 9,500 円

「私よりも見すばらしくなつた所を、今に見返してやるから！」やつと幸せになれると思つた矢先、愛する男を奪われたリスベット。復讐の鬼となった彼女は、男爵夫人に納まったアドリーヌを妬み、彼女たち一族を没落させようと執念を燃やす。「人間喜劇」を代表する傑作長編「従妹ベット」。

140
シュミットボン／森鷗外・訳（昭和七年八月）
街の子 外一篇……………定価 3,900 円

妻と幼子を連れて十年ぶりに帰宅した息子、そして、人の道を追及するあまり、息子を拒絶する父。寛容と不寛容に揺れ動く人間の苦悩と悲劇。小山内薫による名作映画「路上の霊魂」の原作である戯曲を、文豪鷗外の気品ある訳文で送る。風狂の哲学者をめぐる艶笑譚「チオゲネスの誘惑」を併録。

141
ヘッベル／吹田順助・訳（昭和七年十一月）
マリア・マグダレーネ……………定価 3,900 円

十九世紀ドイツ最大の悲劇作家ヘッベルの代表作。名分を最も重んじる厳格な父アントンと、その清楚な娘クララと息子カルル。ある日、カルルが官憲に逮捕されたことで、クララに悲劇が訪れる。恋人に裏切られた彼女に残された道は、一つだけだった。「世間体」に縛られた市井の人間たちの悲劇。

142
シュニツラー／山本有三・訳（昭和七年八月）
盲目のジエロニモとその兄 外五篇……………定価 3,900 円

盲目の弟ゼロニモと弟に献身的に尽くす兄カルローは、弾き語りの旅芸人兄弟。だが、ある日、一人の客の気まぐれが、兄弟に断絶をもたらす。兄弟愛と不信の狭間で、苦悩を描いた表題作の他、愛恋に迷った身勝手な男の運命を綴った佳品「情婦殺し」など、新ロマン主義の代表作家による全六篇。

143
コクトオ／河盛好蔵・訳（昭和七年十月）
山師トマ……………定価 3,900 円

將軍の甥だと嘘をつき、戦場に遊び続ける少年ギョム・トマ。戦線の救護部隊に参加し、ド・ボルム公爵夫人とともに、戦争の深刻さを笑い飛ばす。無邪気に人を騙すことで自らを守っていたギョムだったが、己の死を騙すことは出来なかった…。天才コクトーによる、美しくシニカルな詩的小説。

144
ヘッベル／吹田順助・訳（昭和七年十一月）
ユーディット……………定価 3,900 円

陥落寸前の市街を救うため、美女ユーディットは敵将ホロフェルネスの元へ赴く。超人的な男に魅了されながらも、ついに彼女は敵將の寝首を掻く。しかし、その時彼女の胸にあつたのは本当に祖国愛だったのか、それとも復讐心か…？ 旧約聖書の物語を近代の視線で再解釈した、ヘッベルの処女作。

145
アルツイバアセフ／原久一郎・訳（昭和八年二月）
ランデの死……………定価 4,300 円

愛欲の肯定を訴え、全世界に衝撃を与えたアルツイバアセフ。その文学の出発点は意外にも「悪に対する無抵抗」であった。無垢であるがゆえ人々に誤解され、疎外される青年ランデ。手を差し伸べた相手に拒絶され、恋人から蔑まれながらも、信念を貫いた彼の悲劇を詩的に描いた哀切な名品。

146
フリードリッヒ・シュレーゲル／江澤譲爾・訳（昭和九年八月）
ルチンデ……………定価 3,900 円

秩序など拒絶せよ。必要なのは「惑乱の権利」に他ならない…。恋人ルチンデに理想の愛を求める青年ユリウス。書簡体、対話篇など様々な文体を駆使して綴られる、懊悩と快楽の交差。全ヨーロッパに大スキャンダルを巻き起こした、ドイツ・ロマン主義の巨人シュレーゲルによる唯一の思想小説。

147
ゴリキイ／昇曙夢・訳（昭和七年九月）
零落者の群……………定価 3,900 円

グヴァルタ退役中尉の営む木賃宿には、今日も大勢の零落者が身を寄せる。社会の底辺に喘ぎながらも自由を求めてやまない彼らは、強欲な商人ベツニコフから金を巻き上げようと一計を案じたが…。ロシアの文豪ゴリキイが放浪生活から産み出した、傑作「どん底」の変奏曲ともいうべき名品。

149～148
ハックスレー／永松定・訳（昭和七年十月）
恋愛双曲線 全二巻……………定価 9,800 円

時は第一次大戦後、「絶望の十年」と呼ばれた一九二〇年代。様々な愛欲に苦しみ五家族の姿を通して、退廃と享楽に溺れる知識階級の弱さを辛辣に描いたハックスレーの出世作。物語が複雑に入り組んだ、万華鏡のごときメタフィクション的実験小説。D・H・ロレンスなどが登場人物のモデルという。

150
アングラス／山屋三郎・訳（昭和八年三月）
ワインズバーグ物語……………定価 4,300 円

オハイオ州に位置する架空の田舎町ワインズバーグ。新しい文明に押されてゆく町の風景と淋しい老若男女の物語二十五篇を通じて、若き新聞記者ウィラードの成長から旅立ちまでが語られる。日常生活の中に「人生の表面下」の苦悶を描いた、アメリカ文学を代表する作品として読み継がれる一冊。

全巻予約募集中

●「昭和初期世界名作翻訳全集」は全250巻の予定です。第Ⅰ期～第Ⅴ期の全五期に分け、各期50巻（年1回）づつの配本を予定しております。

●定期購読をご希望のお客様はお近くの書店へご予約下さいますようお願い申し上げます。最寄りに書店が無い場合、また、ご不明の点等ございましたら下記、弊社営業部までお問い合わせ下さい。

TEL03-5296-0491
FAX03-5296-0493
e-mail eigyou@yumani.co.jp

注文書

昭和初期 世界名作 翻訳全集

■ご注文は、下記取扱店か最寄りの書店へお申込み下さい。

■このカタログに掲載の価格は全て本体価格です。

■本全集は、オンデマンド版のため、製作に2週間ほどお時間がかかります。

●第Ⅲ期・全50巻揃222,915円 (本体212,300円) ISBN978-4-8433-2224-6 C0397

四六判並製/カバー

巻	書名	原著者	翻訳者	本体価格	ISBNコード	ご注文覧
101	青 麦	コレット	福永 英二	3,900円	ISBN978-4-8433-2225-3	
102	赤い百合	フランス	石川 淳	4,600円	ISBN978-4-8433-2226-0	
103	悪魔が淵	サンド	田沼 利男	3,900円	ISBN978-4-8433-2227-7	
104	ある兵士の話	クラブント	神波比良夫	4,300円	ISBN978-4-8433-2228-4	
105	イザベル	アンドレ・ジイド	新庄嘉章・林文雄	3,900円	ISBN978-4-8433-2229-1	
106	犬を連れた奥さん 外九篇	アントン・チェーホフ	神西 清	4,300円	ISBN978-4-8433-2230-7	
107	ヴィキングの末裔	ヨハン・ボーイェル	内山 賢次	4,600円	ISBN978-4-8433-2231-4	
108	ヴァテック	ベックフオード	矢野目源一	3,900円	ISBN978-4-8433-2232-1	
109	ウィルヘルム・テル	シラー	秦 豊吉	3,900円	ISBN978-4-8433-2233-8	
110	キャンディド	ヴォルテール	高沖 陽造	3,900円	ISBN978-4-8433-2234-5	
111	貴族の家	ツルゲネーフ	熊澤 復六	4,600円	ISBN978-4-8433-2235-2	
112	消されない月の話	ピリニヤーク	米川 正夫	3,900円	ISBN978-4-8433-2236-9	
113	後尾車にて・路上	レオンハルト・フランク	小島 尚	3,900円	ISBN978-4-8433-2237-6	
114	古城物語	ホフマン	平井 程一	3,900円	ISBN978-4-8433-2238-3	
115	水夫の帰郷	ディヴィット・ガーネット	神谷 次郎	3,900円	ISBN978-4-8433-2239-0	
116	聖ドミンゴ島の婚約 外五篇	クライスト	相良 守峯	3,900円	ISBN978-4-8433-2240-6	
117	世界選手	ポオル・モオラン	飯島 正	4,300円	ISBN978-4-8433-2241-3	
118	戦 争	チーホノフ	黒田 辰男	4,300円	ISBN978-4-8433-2242-0	
119	その前夜	ツルゲネーフ	米川 正夫	4,600円	ISBN978-4-8433-2243-7	
120	大尉の娘	ブーシュキン	熊澤 復六	4,300円	ISBN978-4-8433-2244-4	
121	クラルテ	バルビュッス	佐々木孝丸	4,900円	ISBN978-4-8433-2245-1	
122	血と砂 前篇	ブラスコ・イバニェス	永田 寛定	4,300円	ISBN978-4-8433-2246-8	
123	血と砂 後篇	ブラスコ・イバニェス	永田 寛定	4,300円	ISBN978-4-8433-2247-5	
124	チャック 第一部	ドオデー	八木さわ子	4,600円	ISBN978-4-8433-2248-2	
125	チャック 第二部	ドオデー	八木さわ子	4,300円	ISBN978-4-8433-2249-9	
126	チャック 第三部	ドオデー	八木さわ子	4,600円	ISBN978-4-8433-2250-5	
127	ド・ブレオ氏の恋愛行状記	レニエ	矢野目源一	4,300円	ISBN978-4-8433-2251-2	
128	蕩児の帰宅 外五篇	アンドレ・ジイド	林 文雄	4,300円	ISBN978-4-8433-2252-9	
129	ウェンダミーヤ夫人の扇	ワイルド	谷崎潤一郎	3,900円	ISBN978-4-8433-2253-6	
130	ナ ナ 前篇	エミール・ゾラ	三好 達治	4,900円	ISBN978-4-8433-2254-3	
131	ナ ナ 後篇	エミール・ゾラ	三好 達治	4,300円	ISBN978-4-8433-2255-0	
132	ハイネ・回想録	ハインリッヒ・ハイネ	多田 利男	3,900円	ISBN978-4-8433-2256-7	
133	遥かに狂乱の群を離れて(1)	トマス・ハーデイ	宮島新三郎	4,300円	ISBN978-4-8433-2257-4	
134	遥かに狂乱の群を離れて(2)	トマス・ハーデイ	宮島新三郎	4,300円	ISBN978-4-8433-2258-1	
135	一粒の麦若し死なずば	アンドレ・ジイド	新庄嘉章・横津三	4,900円	ISBN978-4-8433-2259-8	
136	葡萄畑の葡萄作り	ルナアル	岸田 国土	4,300円	ISBN978-4-8433-2260-4	
137	ヘルマンとドロテア	ゲーテ	秦 豊吉	3,900円	ISBN978-4-8433-2261-1	
138	放蕩親爺 前篇	バルザック	永戸 俊雄	4,600円	ISBN978-4-8433-2262-8	
139	放蕩親爺 後篇	バルザック	永戸 俊雄	4,900円	ISBN978-4-8433-2263-5	
140	街の子 外一篇	シュミットボン	森 鷗外	3,900円	ISBN978-4-8433-2264-2	
141	マリア・マグダレーネ	ヘッベル	吹田 順助	3,900円	ISBN978-4-8433-2265-9	
142	盲目のジロニモとその兄 外五篇	シュニツラー	山本 有三	3,900円	ISBN978-4-8433-2266-6	
143	山師トマ	コクトオ	河盛 好蔵	3,900円	ISBN978-4-8433-2267-3	
144	ユーディット	ヘッベル	吹田 順助	3,900円	ISBN978-4-8433-2268-0	
145	ランデの死	アルツィバアセフ	原 久一郎	4,300円	ISBN978-4-8433-2269-7	
146	ルチンデ	フリードリッヒ・シュレーゲル	江澤 譲爾	3,900円	ISBN978-4-8433-2270-3	
147	零落者の群	ゴーリキイ	昇 曙夢	3,900円	ISBN978-4-8433-2271-0	
148	恋愛双曲線 前篇	ハックスレー	永松 定	4,900円	ISBN978-4-8433-2272-7	
149	恋愛双曲線 後篇	ハックスレー	永松 定	4,900円	ISBN978-4-8433-2273-4	
150	ワインズバーグ物語	アンダスン	山屋 三郎	4,300円	ISBN978-4-8433-2274-1	

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日

ご注文書

昭和初期世界名作翻訳全集 第Ⅲ期 全50巻

●揃定価222,915円 (本体212,300円) ISBN978-4-8433-2224-6 C0397

セット

取扱店

お名前
ご住所

TEL ()

